

まちづくり懇談会 岩村

日時：平成 29 年 11 月 27 日（月）午後 7 時～8 時半

場所：岩村コミュニティセンター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■市長 岩村町の人口は平成 17 年に 5502 人。順に減っており今は 5058 人。500 人弱減っている。世帯数は 1692 から増えて 1825。世帯当たり人口、平成 17 年 3.25 人、平成 28 年 2.77 人。恵那市全体は 2.82 人なので少し少ない。人口の割合。平成 17 年を 100 としたとき、恵那市平均は 9.6%。それより一つ上が岩村町で、-8.1%。これより上は、大井、東野、長島、武並。減り方は平均より少し上。でも減っていないわけではない。出生数は、平成 17 年はかなり多く、57 名 57、42、47、35、34、29、40、36、29、30、25、32 で、全体としてはちょっと減り傾向だが年によって増減している。57 人はちょっと多かったのが、全体としての減り幅は 43.8。これがすごく悪いというわけではないと思う。

岩村の観光。お客さんが非常に多い。平成 28 年の入込客数は統計で 24 万 6 千人。2 年前の 20 万人を大幅に超え、19.9%が 2 年で増えた。平成 26～28 年は、県の予算で岐阜観光回廊づくり推進事業で、いろいろな事業に皆様方にご協力いただきやらせていただき、もしくはやっていただいた。こういった効果が出ていると感じる。Wifi の環境を整えたり案内看板を作ったり、街並みの放送設備を入れたり、ゲストハウスの整備をされたりトイレの整備をしたり、修景したりしてきた。全体で 2 億ぐらいの投資をした。平成 29 年は女城主のピーアールキャンペーンを観光で担当した。渡辺美佐子さんが来られたこともあるし、女城主物語列車のキャンペーンを打っている。

岐阜の宝物として認定された。城跡と城下町の 2 つ。苗木は苗木城、可児も城跡。城下町が指定されたのはここだけ。当日は渡会副会長に行っていた。ありがとうございました。

NHK のドラマがスタートする前のロケができた。エキストラの応募総数が 1617 名。出演者は 145 名。大変な競争率だったそうだ。

岩村振興事務所の改修事業。議会での指摘も受けて、改めて地域の皆様で検討していただいている。検討委員会は 38 名ですでに 6 回も行われている。感謝申し上げる。きちんと出していただきそれに基づいて進めていく。

旧岩村町だけでなく、電车道まつりが第5回をすでにやっぴらっしやる。私も参加した。すばらしい取り組みだ。

富田では秋のふれあいウォーキングがあり、私も来た。見たことのないぐらいたくさんの賞品が出ていた。すばらしいと思った。秋の月待ちお堂めぐりで19回、その後のふれあいウォーキングで4回で、すでに23回を数えている。

昨日、一昨日のラリー。出場は39台。地元応援者24人。観客数は公式発表で8千人。大変大勢来ていただいた。沿道を含めて大勢のお客さんに来ていただき有り難かった。何より、走られた皆さんにインタビューをした人がいて、そこから聞いた話では、街の方々のおもてなしに感謝したいと。女性なので地元の皆さんの温かい心遣いが大変嬉しかった、ぜひ来年も来たいという声を多く聞いた。来年、再来年も続けていきたいと閉会式で述べた。クラシックカーの皆さんもラリーの皆さんも喜ばれた。

岩村の営農組織。岩村営農、飯羽間営農、富田営農とたくさんの営農組織がある。岩村町の特徴だ。全部で140~150haを管理している。岩村町は集積面積132なので、岩村町以外のところまで手を延ばしている。恵那市全域で約4千haのうち、集積面積は274。その半分が岩村で営農組合がやっている。

岩村の農業。恵那市全体では13.34%の耕作放棄率。岩村町は全体で470haの農地で、放棄されているのが58ha、12.3%。平均より低い。可能性のある土地だと思うので、これからどう生かすか考えていきたい。

5. 意見交換

■飯羽3区自治会長・安藤 大規模な山林開発の問題。2日前、恵那市の館林のグループ会社だと思うが、株式会社あったか森の国からの井手さんがうちへ来た。飯羽地区に現在分かっているところで22ha強が館林さんの所有もしくは賃貸になっており、この地域で太陽光発電をしたいという。住民説明会を3区、4区の方々に集まっていただき、ここで説明会を来年1月から2月にかけて行いたいということだ。太陽光の概略は、約4億円の資金で、工事はゼネコンにお願いする。景観の問題は、カモフラージュするということだ。

これを受けて、いろいろと3区で検討しているが、実はこの指定された区域内には、飯羽浄水場が隣接してある。この下へ来ると、恵那市の災害ハザードマップでの災害指定地域も含まれてくる。ここで多くの方が生活している。22ha、さらに、私どもの調査では、その周辺の土地の売買契約が仮契約されていると聞く。それを含めると24、5町分になる可能性がある。3区の自治会としては、こんな大規模なものができては住民が安心して暮らせない。沢が細く、ゲリラ豪雨などあれば災害が起きる可能性があるということをもみんな危惧している。危惧することはほかにもいろいろある。この会社が長い間存続するのかどうか。先だってうちの方へエナジージャパンという新宿の会社から問い合わせがあった。

館林の土地に太陽光ということで打診があった。この人は、名前を聞くと、テイさんだと。海外の人だと思う。これが転売されたりとか、今後どうなるか予想できない。3区自治会としてはこういう施設ができることに絶対反対だ。

実は、早急な話なので、ここに書いてきたが、看板を設置しようとしてすでにかかっている。下の方には、3区自治連合会とか、地域協議会、観光協会、皆様にも同意を得ている。なぜかという、これは3区だけの問題ではないからだ。岩村はこれからは観光で生きていく道しかないと思う。現在農村景観日本一というのをうたっている。女城主の里というキャッチフレーズもある。その里山がなくなる。後世にとって決しているいいことではない。そういったところで、自治連合会、協議会からも同調していただいた。この問題については、今年の6月頃、協議会の会長により、市長に建議書を出している。しかし、いまだその回答はない。そういった書類が出てくる前に、市として条例案の網をかけてほしかった。しかし、こういったものが出てくると、業者としてはすでに公になると、急がれると思う。売電には中電との契約がある。契約にはいつまでに作るという条件がある。早速契約の形をとるのではないかと思う。これからは時間の勝負になると思う。

私どもは看板を立てたりして住民として意思表示をしたい。業者から恵那市に申請が間もなく出ると思うが、岩村の現状を考えて対応してほしい。そして何かいい方法があれば教えてほしい。

■市長 6月15日付けで建議書が出ていることは承知している。内部で今検討している。他市の事例を調べ、市だけでなく市民も入れた検討会を設けるなどの手順で、どういう形で規制または協力していただくことがいかに検討している。時間に間に合うかどうか分からないが、きちんと進めている。

■鈴木 バローの近くに住んでいる。創健クラブの役員会で出た話をする。恵那市どこでもあると思うが、自分が健康で歩けたり車があるときには苦にならないが、弱者になるとごみ出しも1kmあると大変だということや、バス停まで1km余あれば大変だということだ。恵那市道もあちこちに雑草が生えて、強い草が生えているので、若いときは脚が上がるが、だんだん脚が上がらなくなったので、舗装を改修してほしい。

■市長 大変お困りだと思う。岩村町や地域の中で検討していただいて要望としてきちんとまとめてほしい。優先順位も含めて、順序立ててまとめていただけると助かる。決して潤沢な予算があるわけではないが、本当に大切なところから順にやる。

■柳町・小栗 岩村町の下の有林の土地をという話が昨年あったがその後どうなっているか。今後どうなるかも。観光地化に向けて伸び放題になっている木を何とか勘考していきたい。

■副市長 国有林を2年前購入した。当初6千万のつもりが倍ぐらいの金額になった。整備計画をしっかりと文化課で作って、計画に基づいて整備していく。元々国有林は整備計画を

持っていたが、一度見直して計画を作り直してやっていく。

隣の民有地も購入できるといいと市としては思っている。全体として整備したい。所有者の同意も必要なので頑張っていきたい。

■柳町・小栗 住民の意向を交えてこうしていきたいという協働の何かができるといいと思っている。

■副市長 整備計画は生涯学習課で持っているので、市民と一緒にどんなふうにしたらいいか、一度生涯学習課に話して、岩村の代表者を何人か集めてということだ。

■司会 長年にわたって国有林を市が買い求めていただいたということで、景観の中で街並みが見えればいいというのが皆さんの希望だったので、なるべく皆さんと話して生涯学習課と一緒にやっていきたいということだ。

■副市長 分かった。それはしっかりやれるように考える。

■飯羽間1区地域自治区副会長・加藤 防災について。7月4日に豪雨があり、私は名古屋市に通勤していてその帰りだったが、高蔵寺駅で止められた。防災情報について、避難準備情報とか警報、多治見市、土岐市、瑞浪市、中津川市はほぼ同時に防災情報が出た。恵那市だけ出なかった。後で調べたら、前日からの降雨量や当日のとかいろいろ基準があり、その基準が非常に古いのではないかと。この案件は7月以降に地域協議会の席上でも具申した。今一度具体的な見直しに着手いただきたい。そのとき、富田と新市場の中間で裏山が崩れて土砂が家屋に一部流れ込んだ。幸い人命には被害がなかった。それと1区でも伊藤としろうさんの下のがけが崩れた。道路の法面だった。そこがまだ直ってないので至急お願いしたい。

安藤自治会長からあった件。付け加えて、もし条例を作るなら、もし遅くなるなら、規制が既存施設についてもかかる形にしてほしい。

■市長 7月に大雨があつて裏山が崩れた件は報告を受けている。ただ、基準は、古いかどうか、副市長から説明する。

条例のさかのぼりの件は、手順を踏んでやっていきたいので、できるかどうかも含めてやっていく。皆さんが危惧されていることは十分承知している。

■副市長 基準は古いということはない。基準値が非常に厳しいところとそうでないところがある。木曾川の北側の笠周地域は、平成24年だったかに災害が起きており、準備情報が、降雨量が少なくても出る。岩村より少なくても向こうは早く出る。そのときの瞬間的な降雨量、累積の降雨量に基づいて基準値を持っている。白川町、東白川村等も、笠周地域と同じような基準値を持っている。特に岐阜県の中でも非常に早く出る。

一方、こちらの方は今まで災害がなかったこともあり基準値が緩い。しかし、8月に、地元で厳しい思いをしたことがある。私は明智だが、瞬間的に60mmぐらい降って明智川が氾濫しそうになった。アメダスの雨量計が、明智では市街地よりも東側に設置してあり、

吉田というその瑞浪に近い方が採ってなかった。そのとき陶の振興事務所に雨量計があり、88mm だった。したがって、今度から細かく降水量が測れるものを持っていきたいと思っている。

■3区・田口 まずお礼を言いたい。祭りにも来てくれ、飯羽間は岩村の観光地の中で穴場になっているので一生懸命やるのでまた来てほしい。コミュニティセンターのこの机はとてもきれいだ。ホールは穴だらけだ。地域包括支援センターから仕事をいただいたり歌声喫茶で年配の方のそういうことをしているが、市長初め何人かの方がアポなしでいらっしゃるので驚くが、お年寄りみんな喜んでくれる。現場を見てくれるので嬉しい。そのとき、穴だらけの机を木目調のガムテープで貼れば1万円以内で済むとつぶやいたら、2回目のときに全部治っていたので、忖度してもらったと思う。お年寄りがすごく喜んで

いた。

財政の問題を聞いて、厳しいということも分かった。でも堅実にやっていけば何とかいけそうだという言葉を聞いた。教育の問題でお願いがある。ずっと前、教育長が恵南の学校を統廃合したいという話をされたとき、財政の問題じゃないと言われた。これはいいと思った。財政が問題だったら、金がないのに続けてくれとは言えない。でも、教育内容として考えてほしいと言われた。教育というのは百年の計と言われる。大きいスケールメリットを求める方法もあると思うが、今の子どもたちは個別にじっくり見ていった方がいい子が多いことも確かだ。問題があるのも事実だと思うし国が求める適正基準もあると思うが、恵那市の人を育てるため、また地元に戻って活躍してくれる子を育てるため、あるいは移住者の人が来て「スクールバスで通うのか」と思うより「恵那市ってこんなに教育に手厚いの」と思ってもらいたい。産婦人科も、恵那市に来て住んだら生まれるところもいいふうにしれくれるし教育も大事にしてくれる、働くところもある。そういう観点でもう一度、中学校、小学校も含めて、統廃合の問題は、何とか地域に学校が残るように進めてほしい。

■司会 統廃合は2年位前はかなり進んでいたような気がするがその後どうなったかということもあるのでよろしくお願いします。

■市長 今日は田口さんから厳しいご意見をいただくものと思って来た。

統廃合については選挙の間にいろいろな地域を回った中のことを含めてお話しする。市の中では統廃合は方針が出たと僕は横で聞いていた。実際現場で地域を回ると、決してもろ手を挙げて賛成されているのではなく、心配している人、やってもいいと思っている人、統合した方がいいと思っている人、いろいろな意見がたくさんあったことに驚いた。これはもう少しきちんと議論を深めていく必要があると今は感じている。この質問はほかの地域でもいただいた。今は市役所の中で改めて統合による課題をもう一度洗っている。期間のない中で統合の話がまとめられた印象がある。どこに統合し、どれだけの通学時間がか

かかる、費用がかかるなど、きちんと洗って、改めて統合するかしないかご提案できるようにして、最終的には皆さんが決めることだと思うので、今 24 項目の課題を洗っている。市役所の中の担当が持ち寄って洗っている。しばらく時間をいただきたい。

■佐々木 岩村資料館にシルバーで勤務している。岩村城に訪れる人がこの頃すごく多い。資料館も 4 月から 3、4 千人多く入館している。ゴールデンウィークは満車になって交通整理をしている。が、駐車場が穴だらけだ。一度通ってみてほしい。

■司会 薪能をやったとき平らにしたが今は本当に凸凹になっている。

■市長 今日お昼に行った。凸凹だった。すぐに直す。

■子育て支援・新市場・三田 子育て支援を初めて 10 年になる。岩村町、恵那市は、人と人とのつながりが深くて子育てしやすい。そのためには居場所づくりが大事で、駐車場があるところで子育て支援をしないといけない。母親がみんな車で来るので。場所がなかなか見つからない。岩村町に集いの広場の場所を考えてほしい。

■市長 三田さんとは富田でお会いした。いろいろなところでそういう話が出ている。改めて担当から話を伺う。

■柳町・加藤 この頃多くの人が訪れてくれる。ラリーもそうだし、観光として特化するような行事が数多く行われていて、若い子たちが一生懸命汗を流してくれることに感謝している。

財政難の中リーダーになった市長だが、岩村の観光拠点づくりを試みたいというとき、浪漫亭のようなやり方が岩村で可能か。

■市長 浪漫亭は第三セクターの会社だった。今私は明知鉄道と浪漫亭の社長になっている。浪漫亭は旧明智町時代に第三セクターとして整備され、歴史的経過があって今の状態になっている。新たな観光施設を会社として作るというのは難しいと思っている。第三セクターではなく民間の力を借りるのが本筋だと思う。

■3 区・高橋 安藤自治会長が切実に言われていた太陽光パネルのこと。私の家のすぐ横を沢が流れている。豪雨があった日、あの敷地も崩れた。7m幅、7m高さぐらい。沢をほとんどふさいだ状況だ。河川管理担当の市職員が見に来て、そのうち何とかするという話だったがまだそのままだ。あれくらいの雨でも土石流が発生しかねない。ちょっと下がったところの津島神社の角は沢が直角に曲がっている。過去にもそこで土砂災害が発生している危険な地域だ。業者から開発許可の申請が出たとき、許可や認可をせざるを得ないというのが市の考えだと思うが、許可したということは、許可責任もそこに伴う。あんな危険なところを開発すると分かっているながら許可すると責任が発生する。3 区住民はそう理解している。3 区の住民を敵に回さない施策をお願いする。

■市長 私の方に意見としていただいているのは、6 月の建議書だ。それ以降に状況が変わっているとか、改めて意見をまとめて伝えたいということなら、まとめて意見を上げて

ほしい。ほかの地域でも太陽光パネルの規制の相談もいただいているが、片方で事業をやっている人もいる。住民の中で納得できる場所で意見をまとめることが大事だ。それぞれの立場の皆さん、それぞれお住まいの皆さんから意見を出していただき、公の場、もしくは市民も含めた公開の場で議論するのが正しいやり方だ。

先ほど言葉足らずだったと思うので補足する。浪漫亭は3年ぐらい前に経営不振で一度やめた。今は第三セクターとはいえ、テナントリーシング方式になっていて、中で運営しているのは全員民間でテナントとして入居している。それまでの大正浪漫株式会社が直営でやってきたこととは、運営形態は変わっている。その上で、民間の皆さんが4社力を合わせて、それぞれで運営して、私どもは家賃をいただいている。それに関して言えば、民間でやってほしいと言ったが、明智の方でもそういうやり方を今はされている。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 本日はありがとうございました。活発なご意見をいただきありがとうございました。本日いただいた意見は持ち帰り担当部署で取りまとめる。今日言えなかったことがあれば、振興事務所に伝えてほしい。未来に向けた考え方もいただきたい。前に進めていきたい。

■司会 これで閉会する。

[閉 会]